


令和6年5月14日

学校法人仁多学園  
理事長 糸原 保 様

学校法人仁多学園監事

村尾 明利 

学校法人仁多学園監事

森 長 洋二 

## 令和5年度学校法人仁多学園決算監査報告書

学校法人仁多学園寄附行為第15条第1項第4号の規定により、令和3年度学校法人仁多学園の業務並びに財産の状況について、監査を実施したので、その結果について下記のとおり報告します。

### 記

#### 監査の概要

- (1) 監査の期日 令和6年5月14日(火)
- (2) 監査の場所 島根リハビリテーション学院
- (3) 監査の手続

本監査は理事長から提出された令和5年度学校法人仁多学園資金収支計算書をはじめとする財務諸表並びに事業報告書等に表示された計数が、財務内容及び経営の成果を的確に把握処理されているか、また、諸法規、寄附行為に照らし、合法的かつ適正に業務が遂行されているかを確認するため、会計諸帳票、預金通帳等、証拠書類との照合等を行い、実施状況を検証した。

#### 監査の結果

##### (1) 決算諸表について

監査に付された決算諸表は、事業の財務状況及び経営の成績が適正に表示されており、その計数は正確に処理されていると認めた。

##### (2) 経営の状況について

###### ◎ 入学生の動向

令和5年度の入学者数は理学療法学科33名、作業療法学科17名、計50名で、作業療法学科の入学者数が少なかった。

また、在籍学生数は226名となり、前年度当初比15名の減となった。

#### ◎ 収支の状況

事業活動収入合計は3億1,317万2千円余(対前年比96.3%)、事業活動支出合計は2億9,467万2千円余(同101.5%)で、基本金組入前当年度収支差額は1,849万9千円余(前年度3,480万6千円余)であった。

基本金組入額は1号基本金で、4,140万1千円余である。なお、基本金取崩額は258万8千円余で、内訳は校用車の除却である。その他4号基本金を文科省の定めにより再計算し、50万円取り崩した。

#### (3) 個別事項

- ① 預金については、取引金融機関の令和6年3月31日現在の残高証明書等により確認した。
- ② 学院の教育活動等の実施状況は令和5年度重点目標達成状況報告書等により確認した。

#### (4) 総括

学生募集については、学校訪問やオープンキャンパスの開催、テレビCMの放映など、教職員が一丸となった取組により、近年入学定員を充足してきたが、令和6年度の入学生は理学療法学科29名、作業療法学科13名、計42名となり、作業療法学科については令和5年度に続き定員を大幅に下回った。今後も18歳人口の減少が見込まれる中で、厳しい状況は続くものと考えられるが、国家資格の合格率や就職満足度の高さなどの学院の魅力や、療法士の職業理解を進める情報発信などに一層取り組まれ、入学定員の確保に努められたい。

一方、中途退学者は7名(退学率3.1%)で、前年度(8名・3.3%)と比較しわずかではあるが、減少した。今後も継続して学生支援の一層の充実を図り、中途退学者の減少に努められたい。

また、令和5年度卒業生の国家試験合格率については、理学療法学科100%、作業療法学科95.7%で、いずれも全国平均を上回った。両学科ともに合格率100%を目指し、引き続き教員各位の熱意ある指導と努力を期待したい。

以上、監査報告とする。